

安倍首相の人脈には私の尊敬する中西輝政、西部邁、故三宅久之氏等が居り、中でも異色な人は、今「永遠のゼロ」で 450 万部のベストセラー作家の百田尚樹氏が居ります。百田氏の次の「海賊と呼ばれた男」もまたミリオンセラーとなって居ります。出光興産の創業者出光佐三氏をモデルにして書かれたものではありますが、その書き出しに「愚痴はやめよう。ただちに建設にかかれ、日本には 3 千年の歴史がある」と昭和 20 年 8 月 17 日終戦の翌々日、全社員にむかって出光氏が呼びかけ「社員はすべて家族も同様一人敵首もしてはならない」と命じて、敗戦した日本の再建に尽し続けた男の生きざまを見事に画いて居ります。

安倍首相のどうしたら日本を再生できるかの問いに対して百田氏達は「国民が未来にむかって自信と誇りを持つことであります」と答えたと伝えられて居ります。安倍首相は「強い日本、それを創るのは他の誰でもありません。私達自身です。～一身独立して一国独立する～ 私達が誰かに寄りかかる心を捨て、それぞれの持ち場で自ら運命を切り拓こうという意味を持たない限り私達の未来は開けません。

日本はいくつもの難しい課題を抱えています。しかし、くじけてはいけな、諦めてはいけません。私たち一人一人が自ら立って前をむき、未来は明るい信じて前進することが私達の次の、そのまた次の世代の日本人に立派な国、強い国を残す唯一の道であります。

自立する個人を基礎としつつ、国民も国家も苦楽を共にすべきだ」と施政方針をのべ、アベノミクスを提唱。まさに低迷する日本経済を大逆転させ、私達が次に向かうべき方向と、自信や誇りを与えてくれました。やっと訪れて来た新しい大きなうねりの受け皿を私達はどうかどう作るかであります。

ここ十数年のデフレ不況で議論し、考え盡して来た事を決断し実行に移す年として頂きたい。

先ず鈴木市長さんが提唱するフルーツライン・市内 30 分道路構想があります。福沢諭吉に可愛がられた、日本の孤島山村僻地を活性化させた旅の巨人、宮本常一は「花を咲かすより実のなる木を植えなさい。豊かな町を作りたかったら先ず自分達の手で箱庭の様な美しい群(むら)を作りなさい。そうすれば人は必ず集ってくる」と説いて居ります。獣害を心配される方もあると思われませんが人類は万古から巨獣達と知恵と群れを作って勝ち残り万物の霊長となった立派な歴史があります。観光の大動脈は道路を渋滞させない事であり。清和～鴨川線、市内 30 分間道路の改善、実現は急ぐべきであります。千葉県に来られる観光客の 30% は神社仏閣への参観が多い事を再認識して対処して頂きたい。

私の今年の初夢は君津市、商工会議所、日本郵政が主催する「年賀状日本一大賞」でありました。この夢が実現したら君津市は全国へと知名度をあげます。全市民が明るく元気で生涯現役で働ける地場産業を作れる時は平成の時代にはもう二度と来ないと思うからであります。